

(3) 活性化モデル事業

実効性・実現性のあるプランとするため、具体的な取組を試行的に実施することも重要です。そこで、上記「中心市街地9商店会連絡会」において企画した具体的な取組を「活性化モデル事業」として試行的に実施してきました。

〔平成 21（2009）年度〕

- ・キャラクターを当てよう！2009
- ・キンダー・フィルム・フェスティバル連携事業（ポスター掲示，入場割引券配布）
- ・ケバックフェア，カナダ観光物産展
- ・ウィンターイルミネーション

〔平成 22（2010）年度〕

- ・妖怪を探そう！2010，水木夫妻ありがとうPOP掲示
- ・キンダー・フィルム・フェスティバル連携事業（ポスター掲示）
- ・調布・布田・国領まちなかパネル展
- ・商店会CM制作・上映
- ・ウィンターイルミネーション

〔平成 23（2011）年度〕

- ・調布の商店会CMを見て賞品ゲット！！
- ・キンダー・フィルム・フェスティバル連携事業
（ポスター掲示，キンダー商店街，キンダー放送局）
- ・商店会CM制作・上映
- ・ウィンターイルミネーション
- ・エリアワンセグ実証実験「調布の美味しいお店を紹介」

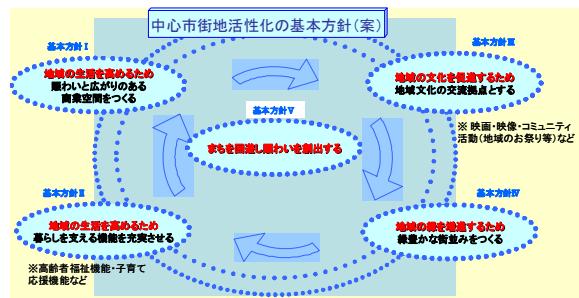


平成21年度 中心市街地活性化モデル事業のまとめ

平成21年度は、平成20年度からの取り組みを受け、映画関連事業を含み、中心市街地活性化基本方針に基づく、4つの活性化モデル事業を実施した。

回遊性の強化を目指した
映画祭関連事業

【平成20年度策定】



【中心市街地活性化協議会準備会として】

中心市街地活性化コンセプト：
「基本方針」策定

映画関連事業の実施を検討へ

* 映画以外の取組みについても、今後検討予定

平成21年度、より具体的な
事業の検討/協議へ

回遊性の強化を目指した
その他の事業

活性化モデル事業①
「キッズ・フィルム・フェスティバル割引券の配布」

子どもたちの国際映画祭「キッズ・フィルム・フェスティバル」を活用して、割引券配布や映画祭ポスターの掲示により中心市街地商店会の利用促進・回遊性の向上を図り、賑わいを演出。



活性化モデル事業②
「ケベックフェア」

国際映画祭「ケベック映画祭」を活用して、割引券配布や映画祭ポスターの掲示により中心市街地商店会の利用促進・回遊性の向上を図り、賑わいを演出。カナダ観光物産展・グルメフェアの開催により、映画祭来場者のまちなか回遊を促進。



回遊性の仕掛けづくり・
話題づくりを実施

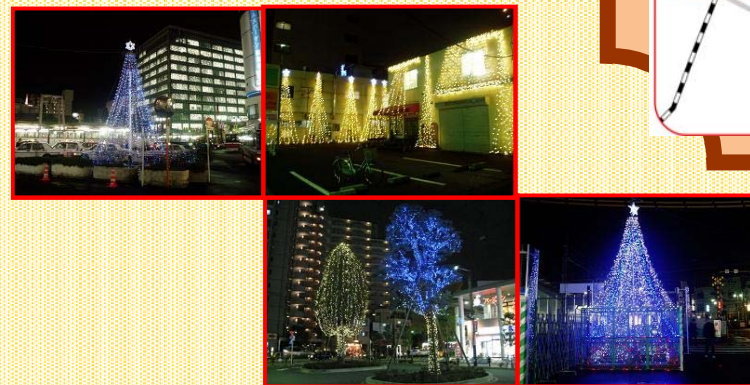
商店会連携による組織力・
連携力の強化に貢献

毎年継続実施することにより、
より強い効果を発揮できる事業へ
と、進化・発展を目指す



活性化モデル事業③
ウィンターイルミネーション

(7商店会で点灯日統一：
11月15日～1月17日・64日間)



活性化モデル事業④
「キャラクターを当てよう!2009!!」

- ① キーワードポスターを制作、参画する商店会加盟店数箇所の店頭でポスターを掲示、キーワードとなる文字を読み取る。
- ② 商店会加盟店の利用者に『応募券』を差し上げ、ポスターから読み取る「キーワード6文字」を完成させるクイズを開催、抽選で応募者に賞品を贈呈。



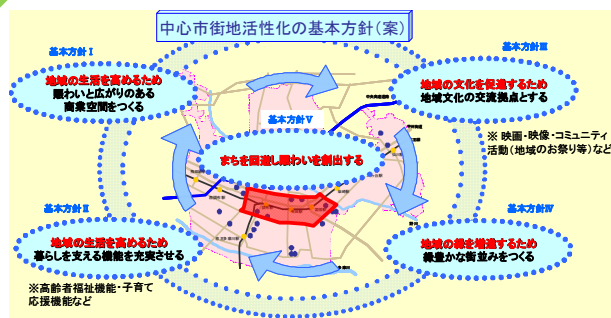
平成22年度は、中心市街地活性化基本方針に基づき、回遊性向上事業・映画関連事業として、5つの活性化モデル事業を実施、話題性を提供し、効果を上げた。

活性化モデル事業1-回遊性向上事業 「商店会まちなかパネル展」

商店の店頭を活用して、調布にゆかりある水木しげる作品の妖怪キャラクターを漫画から抜粋、パネルに加工し展示、展示箇所のごマップを制作、来場者のまちなか回遊の促進を図り、大きな成果をあげた。



【平成20年度策定】



【中心市街地活性化協議会準備会として】

中心市街地活性化コンセプトに繋がる 回遊性向上 & 映画関連事業 の検討

平成22年度は、より進化した
事業を検討/実施

活性化モデル事業2-映画関連事業 「第18回キダー・フィルム・フェスティバルの活用」

平成22年度は、映画祭のポスター掲示を実施。

平成23年度以降、この映画祭を商店会全体で盛り上げ、「映画のまち調布」を推進する取組を検討することを確認。



活性化モデル事業3-映画関連事業 商店会CM(コマーシャルフィルム)制作

多くのお客様に利用してもらいたい商店会と、地域と連携した取組を行いたい日活芸術学院がコラボレーションし、日活芸術学院の学生が商店会をPRするコマーシャルを制作。

市内商業の活性化と「映画のまち 調布」の推進を一体的に進行し、話題性も提供。



活性化モデル事業4-回遊性向上事業 「ウィンターイルミネーション」 7商店会で、点灯期間を統一: 11月15日~1月16日(63日間)



回遊性の仕掛けづくり・話題づくりを実施

商店会連携による組織力・
連携力の強化に貢献

毎年継続実施することにより、
より効果的な事業へと、
進化・発展を目指す



活性化モデル事業5-回遊性向上事業 「妖怪を探そう!!2010」

各商店会のテーマ妖怪が描かれた9種類のバナーフラッグを、各商店会に1か所、街路灯等に設置。

妖怪バナー設置箇所に近い2商店名を応募券に記入、ぬくもりステーションで公開抽選会開催、当選者にふれあい商品券を贈呈。回遊性の向上と商店会のPRを図った。



「水木ご夫妻ありがとう」
POPを制作、市内全域
商店会へと波及させた。



平成23年度は、中心市街地活性化基本方針に基づき、回遊性向上事業・映画関連事業として、6つの活性化モデル事業を実施、話題性を提供し、効果を上げた。

**活性化モデル事業1-映画関連事業
第19回キンダー・フィルム・フェスティバル連携事業
「ポスター掲示」「キンダー商店街」**

・映画祭のポスターを掲示。
・映画祭盛上げと商店会PRのため
「キンダー商店街」を初開催(上布田商栄会)



**活性化モデル事業2-映画関連事業
第19回キンダー・フィルム・フェスティバル連携事業
「キンダー放送局」**

電気通信大学による「キンダー放送局」を初開設。
各種インタビューや商店会CMを
ワンセグ放送にて発信、話題性を提供。



**活性化モデル事業3-映画関連事業
商店会CM(コマーシャルフィルム)制作**

「多くのお客様に利用してもらいたい商店会」と
「地域と連携した取組を行いたい日活芸術学院」が
コラボレーションし、商店会をPRするCMを制作。本年は第2弾。
レベルも向上し、松本映画祭では、CM部門の大賞を受賞。
商店会事業でも活用した。



【平成23年度】

【中心市街地活性化協議会準備会において】

中心市街地活性化の基本方針に繋がる
回遊性向上 & 映画関連事業の継続検討/実施

**活性化モデル事業5-回遊性向上事業
「ワンセグ放送実験による、調布飲食店の紹介」**

電気通信大学が授業の一環で「エリアワンセグを活用した
地域活性化」を研究。調布駅周辺の飲食店を紹介する番組を
エリアワンセグで放送。番組制作は白百合女子大学とコラボレ
ーション。
大学間の連携・産学間連携など、新たな成果を産んだ。



**活性化モデル事業6-回遊性向上事業
「調布の商店会CMを見て賞品ゲット!!」**



商店会CMをより多くの方に観て
もらい、商店会をPRする事業を
実施。

商店会のCMを、携帯電話で
視聴し、人気投票してもらうこと
で、抽選で賞品が当たる。
「まちなかパネル展(H22年度実
施)」のパネルを活用してPR

「おはよう日本」(首都圏向け)
で放送され、商店街ロケと併せ、
大きな話題性を提供。



**活性化モデル事業4-回遊性向上事業
「ウィンターイルミネーション」
7商店会で、点灯期間を統一:
11月15日~1月15日(62日間)**

